

# ITS世界会議愛知・名古屋2004に向けての展望

～飛躍する移動ITS for Livable Society～



ITS情報通信システム推進会議  
総会・シンポジウム  
平成16年6月8日

『ITS世界会議愛知・名古屋2004』  
日本組織委員会事務局長  
石 太郎

# 内 容

1. デジタル時代のITS
2. ITS世界会議の経過
3. 2004年ITS世界会議に向けて
4. まとめ

# デジタル時代のIT S

# デジタル時代の到来

「双方向」によるイノベーション

“見るテレビから使うテレビへ”

“すべての情報がテレビで！”

情報革命

情報通信システムの統合

# デジタル時代のIT Sの視点

## 1. 放送と通信の意味するもの

放送: 広く情報を伝達する/個(局)から不特定多数へ

・ベルリンの壁の崩壊

通信: 個から個へ

・目的をもった情報伝達/判断情報の提供

## 2. デジタル時代の視点

移動体(車、人等)への情報提供の革命

片方向から双方向の意味

放送側がユーザーニーズをつかむ重要性

技術的にできることとユーザーニーズのギャップ

## 3. デジタル時代の課題の視点

放送(同報性)と通信(個別)の役割分担

車(移動体)側のデジタル機能理解

国際性 国際競争の克服

## デジタル時代のITS例

“ITSにおけるデジタル放送を含めた携帯電話、DSRC等無線システム活用策に関する調査研究会( )”

設置期間:平成15年7月～平成16年3月

座長:森川 高行 名古屋大学大学院教授

目的:

- ・地上デジタル放送のデータ放送のITSへの応用
- ・DSRC、携帯電話等通信メディアと放送メディアの連携

平成16年2月4日(水)・2月5日(木)実証実験実施

( :総務省東海総合通信局主催)

# 走行コース





# デジタル放送の移動利用を 想定した初期画面

リアシートでの視聴を  
想定したカーナビ画面



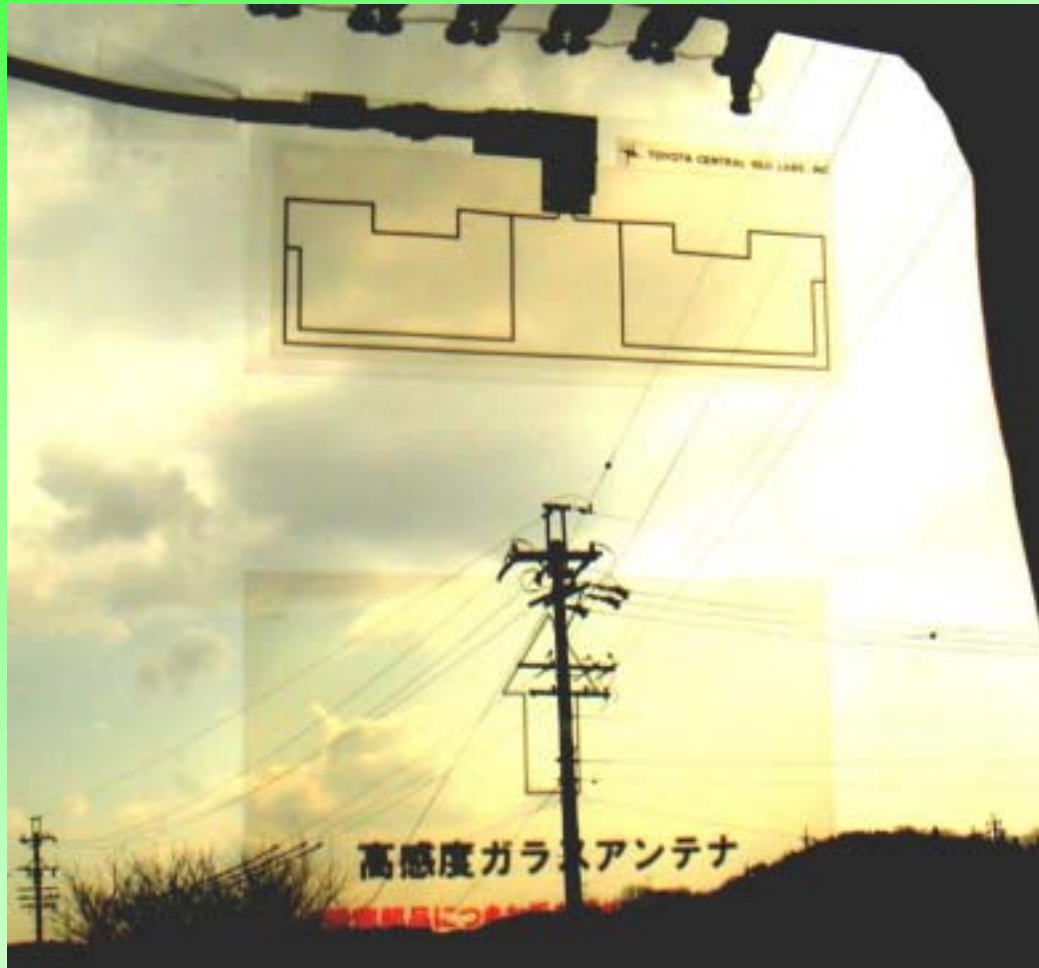
ようこそ  
地上波デジタルデータ放送サービスへ



▲ ▼ キーで移動 **決定ボタン** で選択



# 高感度ガラスアンテナの写真



**【地上デジタル放送無線システム活用策に関する  
ITS調査研究会・実証実験】(平成16年2月4 - 5日)**



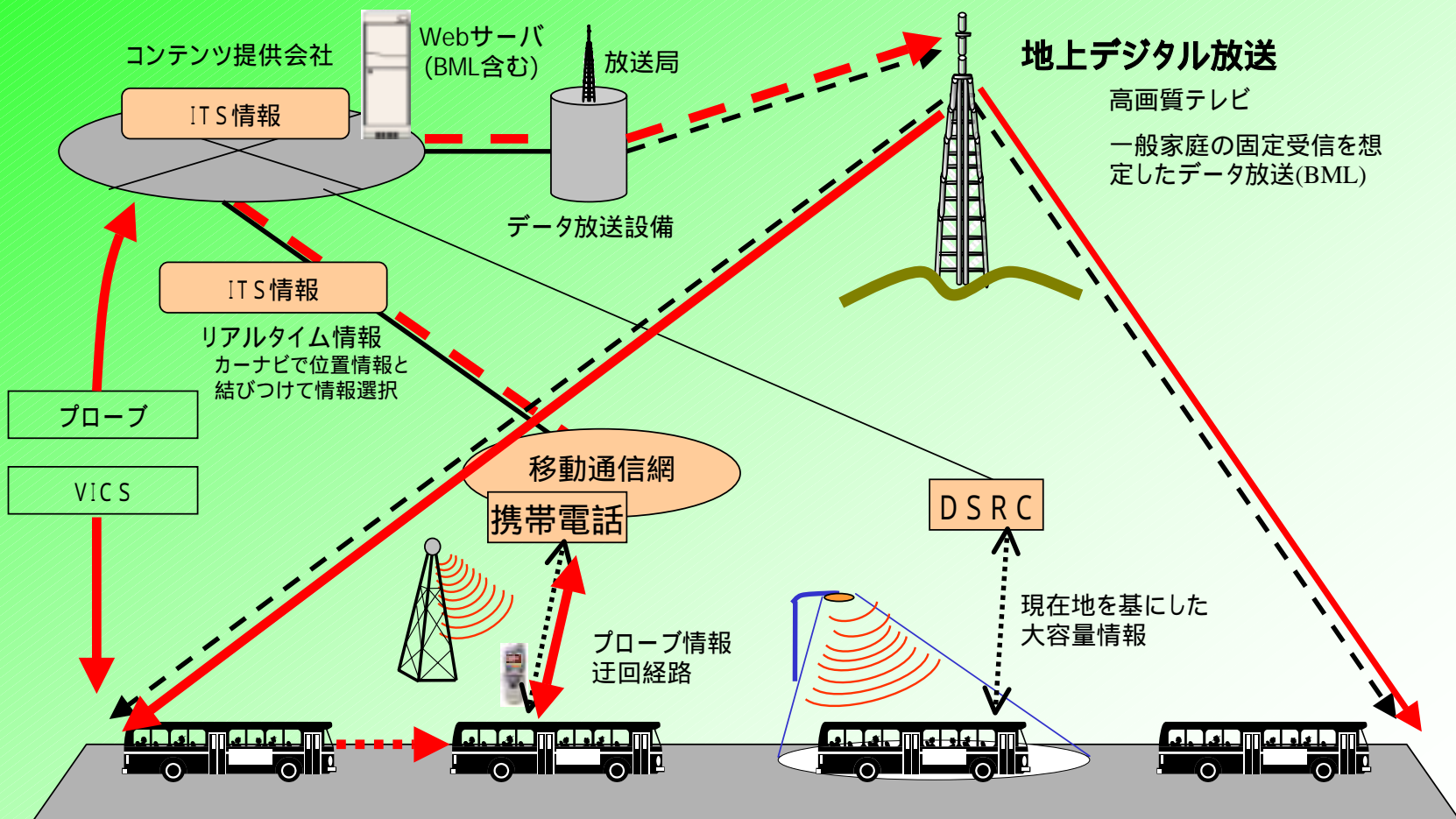
# デモ例： 緊急情報(交通事故発生)

プローブ情報のイメージ画面





# サービスを実施するためのシステムイメージ図



# ITS世界会議の経過

# ITS 世界会議の概要

ヨーロッパ

< ERTICO >

EC、各国政府、民間等、  
から65以上の団体が加盟

アジア・太平洋

< ITS Japan >

関係省庁、研究者、民間等  
から400以上の団体が加盟

北 米

< ITS America >

政府、学会、民間等から  
1,200以上の団体が加盟



3極の持ち回りで開催し、世界レベルでのITS実用化を推進

ITSを推進する世界の関係者(約50カ国:3,000人~5,000人)  
が参加する世界的なイベント(これまで10回実施)

- 最新の研究/開発/導入などの成果発表を通じた交流
- 官民学それぞれの立場からの意見/情報の交換

# ITS 世界会議の歴史

回数	開催年	開催場所	回数	開催年	開催場所
第1回	'94年	パリ	第7回	'00年	トリノ
第2回	'95年	横浜	第8回	'01年	シドニー
第3回	'96年	オランダ	第9回	'02年	シカゴ
第4回	'97年	ベルリン	第10回	'03年	マドリッド
第5回	'98年	ソウル	第11回	'04年	名古屋
第6回	'99年	トロント	第12回	'05年	サンフランシスコ

注) 第13回('06) ロンドン、第14回('07) 中国(北京市)、第15回('08) 米国ニューヨーク、  
第16回('09) スtockホルムの予定



# ITS世界会議・アジア太平洋ITSフォーラムとITSの流れ

'90

'95

'00

'05

**欧州**

ERTICO 設立('91)

# 1 パリ('94)

# 4 ヘルシン('97)

# 7 トリノ('00)

# 10 マドリッド('03)

# 13 ロンドン('06)

DRIVE

汎欧州研究プロジェクト

eSafety

PROMETHEUS

T-TAP

# 16 スtockホルム('09)

CACS

VERTIS 設立('94)

RACS

# 2 横浜('95)

# 5 ソウル('98)

# 8 シドニー('01)

# 11 名古屋('04)

# 14 北京('07)

**日本 (アジア)**

AMTICS

ARTS

SSVS

ASV

UTMS

VICS('96)

ITS Japan ('01)

ETC(01)

5モデル地区(97)

全体構想('96)

SA('99)

IVHS America 設立('90)

# 3 オーランド('96)

# 6 ロント('99)

# 9 シカゴ('02)

# 12 サンフランシスコ('05)

**米国 (米州)**

Moving America

MDIモデル地区('96)

Demo'97 IVI

911('01)

# 15 N.Y.('08)

連邦SA('96)

ISTEA('92-'97)

TEA21('98-'03)

ITS America 年次総会

**アジア**

# 1 東京('96) セミナー

# 3 KL('99)

# 5 ソウル('02) フォーラム

# 7 インド('05)

# 2 ケアンズ('97)

# 4 北京('00)

# 6 台北('03)

# 8 香港('06)

# 2003年 マドリッド世界会議



- ・ERTICOとスペインの連携
- ・遅れ気味の展開
- ・場所の集客効果

・2003年11月16日～20日  
(当初予定から1ヶ月遅らせた)

・場所が参加者を呼んでいる！

・2004年の前年として愛知・名古屋の積極的PR

## マドリッド世界会議の総括

1. **全体規模**: 総参加国75カ国/総参加者6,300人 (会議登録3,000人、展示関係1,500人、展示見学1,800人)、日本より1,000名以上
2. **VIP参加**: 経済産業省泉副大臣 (日本政府代表)、ITS Japan 豊田会長、綿貫ITS推進議員連盟会長、藤井幹事長、愛知県神田知事等。
3. **展示内容の充実**: シカゴよりITSの拡大実感、スペイン流の人間味あるおもてなし演出、豊富なたべもの等で全体には良い印象。
4. **Madridの課題**: 全体運営のスムーズさ、参加者への情報提供等。
5. **2ndアナウンス発行**: 基本骨格の決定、Madridにて積極PR。
6. **2004年営業活動**: PR活動、営業活動、キックオフ会議等を行い、目標以上の成果を上げた。
7. **地元から神田知事参加**: 閉会式に登壇し、次回開催国のアピール。
8. **最終日BOD(理事会)**: 池内BOD議長(東大)、森川IPC議長(名大)に移行。いよいよ名古屋世界会議に向けてGOの実感。











# 2004年世界会議に向けて

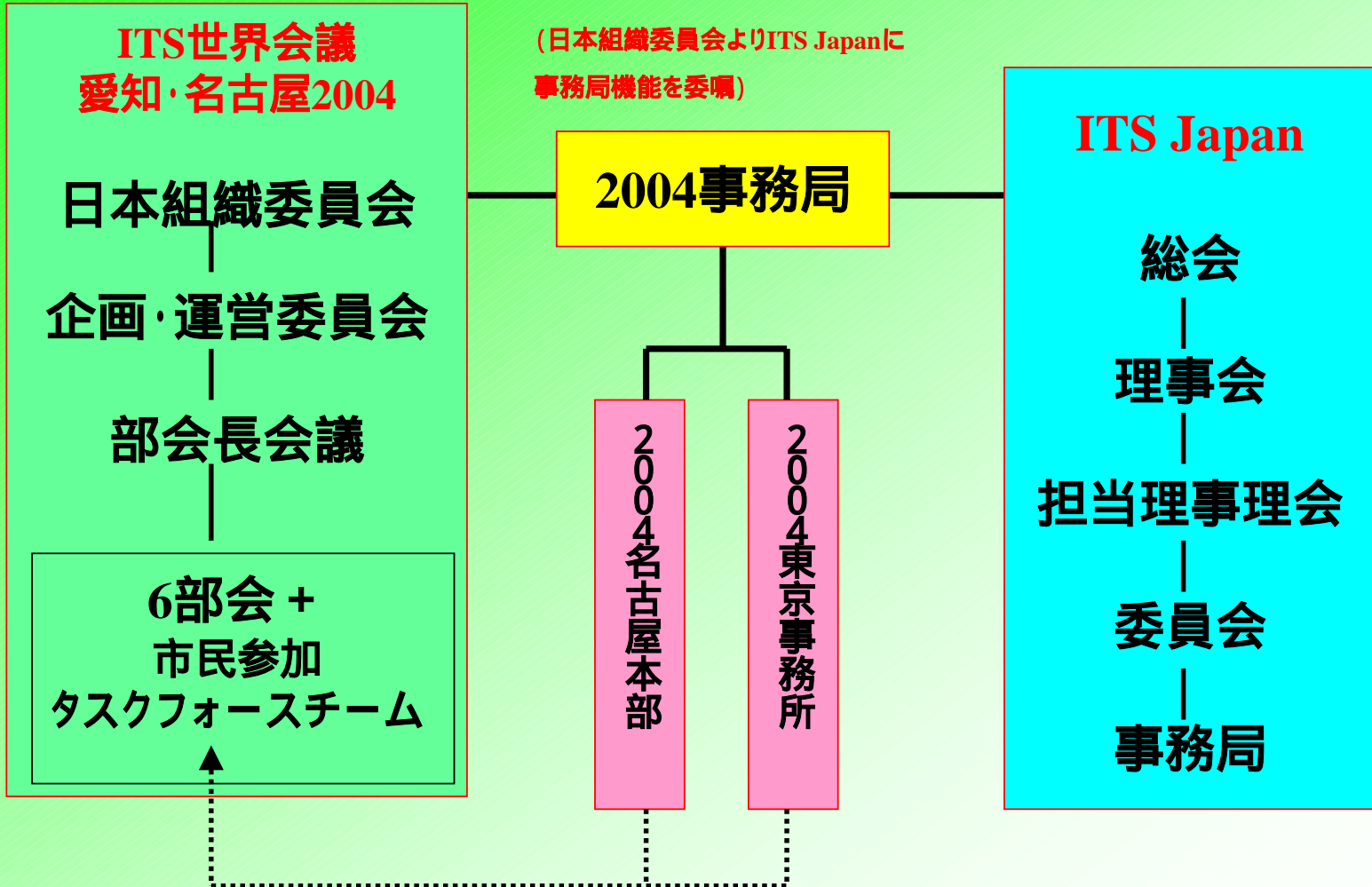


『ITS世界会議愛知・名古屋2004』  
ロゴ・開催テーマ



“飛躍する移動 – ITS for Livable Society”

# 2004年ITS世界会議推進体制



# 日本組織委員会構成

- 【会長】** 豊田 ITS Japan会長
- 【副会長】(6)** 愛知県知事、名古屋市長  
名古屋商工会議所会頭  
中部経済連合会会長  
中原、坂内 ITS Japan副会長
- 【オブザーバー】** 4省庁代表(警察庁、総務省、経済省、国交省)
- 【顧問】** 奥田碩(日本経済団体連合会会長)
- 【総合プロデューサー】** 月尾東大名誉教授 (企画・運営委員会 委員長)
- 【アドバイザー】** 桑原東大教授、
- 【理事】**
- ・学識経験者代表(15)
  - ・民間企業代表(16)
  - ・岐阜県、三重県、豊田市
  - ・ITS推進協議会(6) : 札幌、新潟、愛知、関西、岡山、高知
  - ・経済連合会代表(7) : 北海道、東北、北陸、関西、中国、四国、九州・山口
  - ・関係団体代表(7) : 自工会、部工会、電子情報技術産業協会、  
日本国際博覧会協会、中部国際空港(株)、  
企画・運営委員会副委員長、ITS Japan

**【監事】** (1)

総計 71名

# ITS世界会議準備体制

## 日本組織委員会

(会長: 豊田トヨタ自動車名誉会長)

## 企画・運営委員会

(委員長: 月尾東大名誉教授)

事務局

## 部会長会議

プログラム  
部会

ショーケース  
部会

展示・運営  
部会

ロジスティクス  
部会

渉外・広報・  
宣伝  
部会

総務・財務・  
営業企画  
部会

市民参加タスクフォースチーム

# 第1回日本組織委員会

平成13年(2001年)9月17日(月) 名古屋観光ホテル



豊田会長  
(日本組織委員会)



神田知事  
(愛知県)



松原市長  
(名古屋市)

# 第6回日本組織委員会

平成16年4月28日(水) 愛知芸術文化センター







**豊田会長**  
(日本組織委員会)



**神田知事**  
(愛知県)



**松原市長**  
(名古屋市)





【山本寛斎氏】



【報道関係者】

## 第6回日本組織委員会 記者会見



# 地域連絡会開催

平成16年4月28日(水) 愛知芸術文化センター



# 日本における世界会議開催の意義と理念

1995年 横浜市にて  
第2回ITS世界会議開催

1996年  
日本のITS  
全体構想策定

2004年  
愛知・名古屋

横浜から約10年  
最先端のITSを  
名古屋から発信

市民の暮らしに浸透するITS体験型

市民参加による環境貢献型

世界最先端のITS技術の交流

2004年世界会議の  
開催理念

日本の先端的IT&ITSの発信

オールジャパンの取り組み

# 2004年ITS 世界会議の特徴

1. 次の10年への新たなスタート
  - ・第11回「ITS世界会議愛知・名古屋2004」
2. 「市民参加」により新たな潮流を作る
  - ・今後の世界会議の方向付け
3. スマートタウン・ショーケースの充実
  - ・生活に浸透するITSを実感する
4. 全国に広がるITSの定着
  - ・全国ITS推進組織との連携
5. 国際連携の強化
  - ・グローバルeSafety, アジア太平洋地域
6. 官民のITSの取り組みの新たなスタート
  - ・日本としてのITS発信



# ITS世界会議開催理念とその展開

飛躍する移動

- ITS for Livable Society

新しい潮流を作る理念

オルジャパンの  
取り組み

市民参加型

市民の暮らしに  
浸透する  
ITS体験型

体験コーナー  
ショーケース

関連イベント

スマートタウン・ショーケース

地域 ショーケース

ラボ・ショーケース

ポートメッセITS体験コーナー

万博・中部国際空港との関連イベント

オアシス21 活用イベント

名古屋祭り 連動イベント

中部エレショー連携イベント

従来型理念

世界最先端の  
ITS技術の交流

環境貢献型

日本の先進的  
IT & ITS発信

世界会議

展示

セッション

催事

ITS体験  
コーナー

セッションスタジアム

IT&ITS展示

最先端技術展示

サービス志向セッション

国際セッション

ポスターセッション

ソーシャルイベント

開会式 / 閉会式

ポートメッセなごや駐車場使用

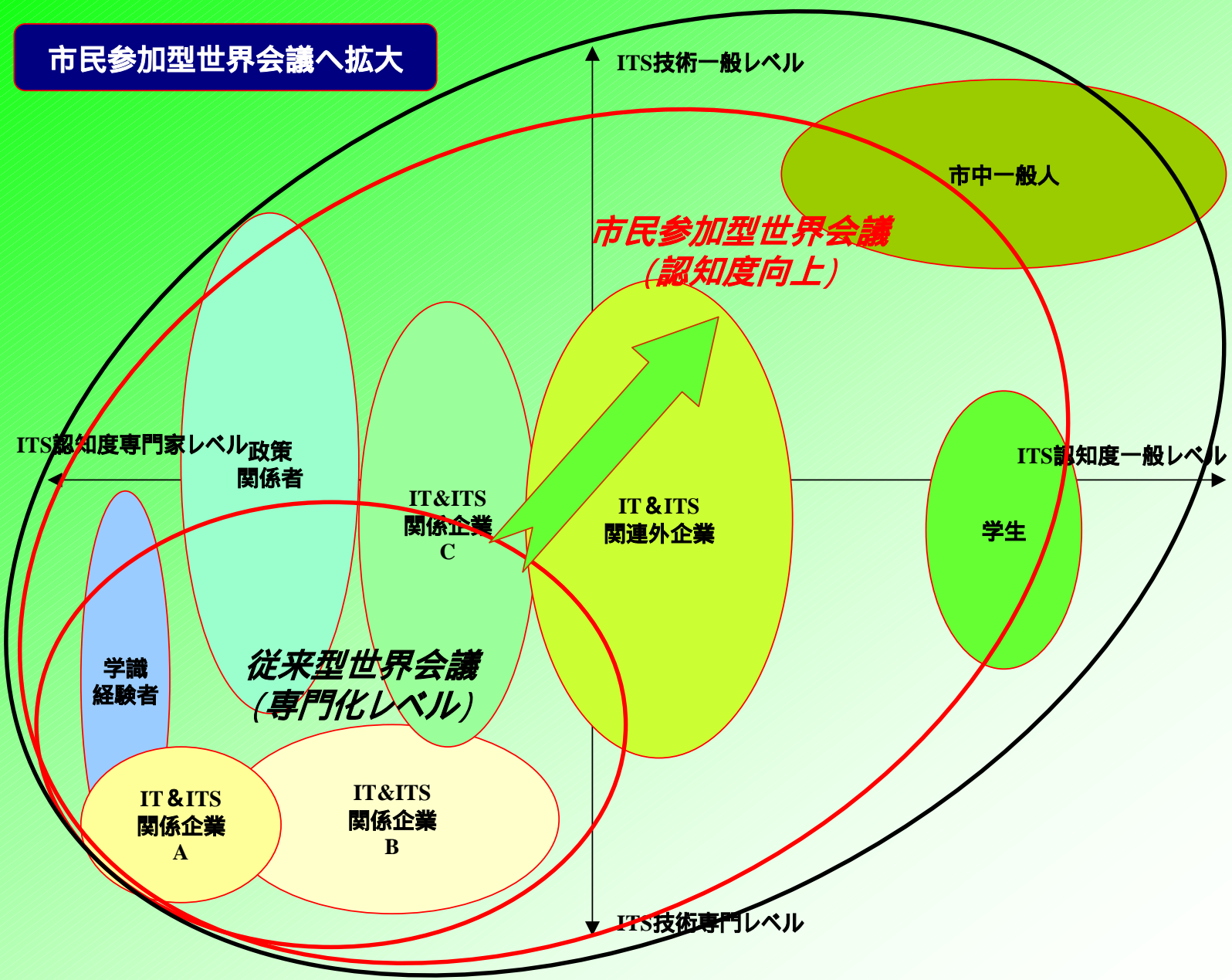
# “市民参加”

## *Public Participation*

- ・従来の世界会議の質の向上
- ・ITS認知度向上
- ・ITS体験型
- ・市民参加で新しい潮流



# 市民参加型世界会議へ拡大



# “ITS World”

ITS World

全体員権パース  
2004.04.31



# 開催規模

- ・全国参加者 : 50 万人
- ・全参加者 : 5 万人 (ポートメッセなごや)
- ・会議登録者 : 5 千人 (ポートメッセなごや)
  
- ・展示 : 758 小間以上

# 『ITS世界会議愛知・名古屋2004』 開催基本骨格

- 開催期間：  
会議：2004年10月18日(月)～22日(金)  
展示：2004年10月19日(火)～24日(日) 土日延長
- 開催会場：  
第1日目(10/18)：愛知芸術文化センター(開会式)  
第2日目以降(10/19-24)：名古屋市国際展示場  
(ポートメッセなごや)
- 開催規模：全国参加50万人、全参加者5万人以上、  
会議登録5千人、出展小間数758以上

愛知芸術文化センター



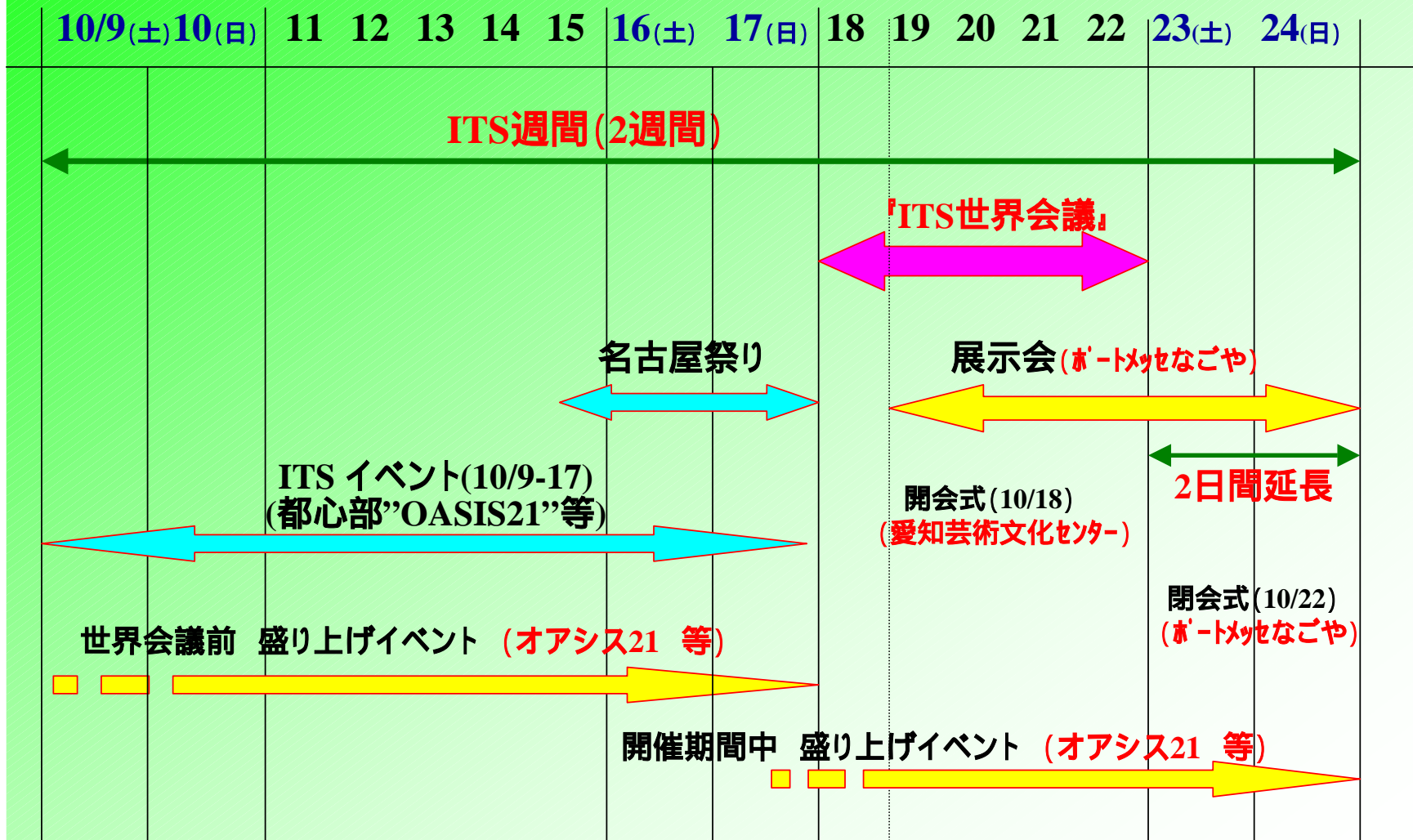
名古屋市国際展示場(ポートメッセなごや)





# 開催期間

## 『ITS世界会議愛知・名古屋2004』





# 【名古屋市都心部・オアシス21付近】



愛知芸術文化センター

オアシス21

# 【ポートメッセなごや】





# -「ポートメッセなごや」の内容(展示・セッション・イベント等) -

## 展示ホール 1

- ・市民参加:「ITSワールド」(ITSガイドツアー他)
- ・関係団体・学界・自治体関係等展示エリア
- ・フードコート
- ・セッション・スタジアム(イベント舞台、閉会式、ビデオ紹介等)
- ・その他

## 屋外展示エリア

- ・デモンストレーション
- ・屋外展示

## 展示ホール 3

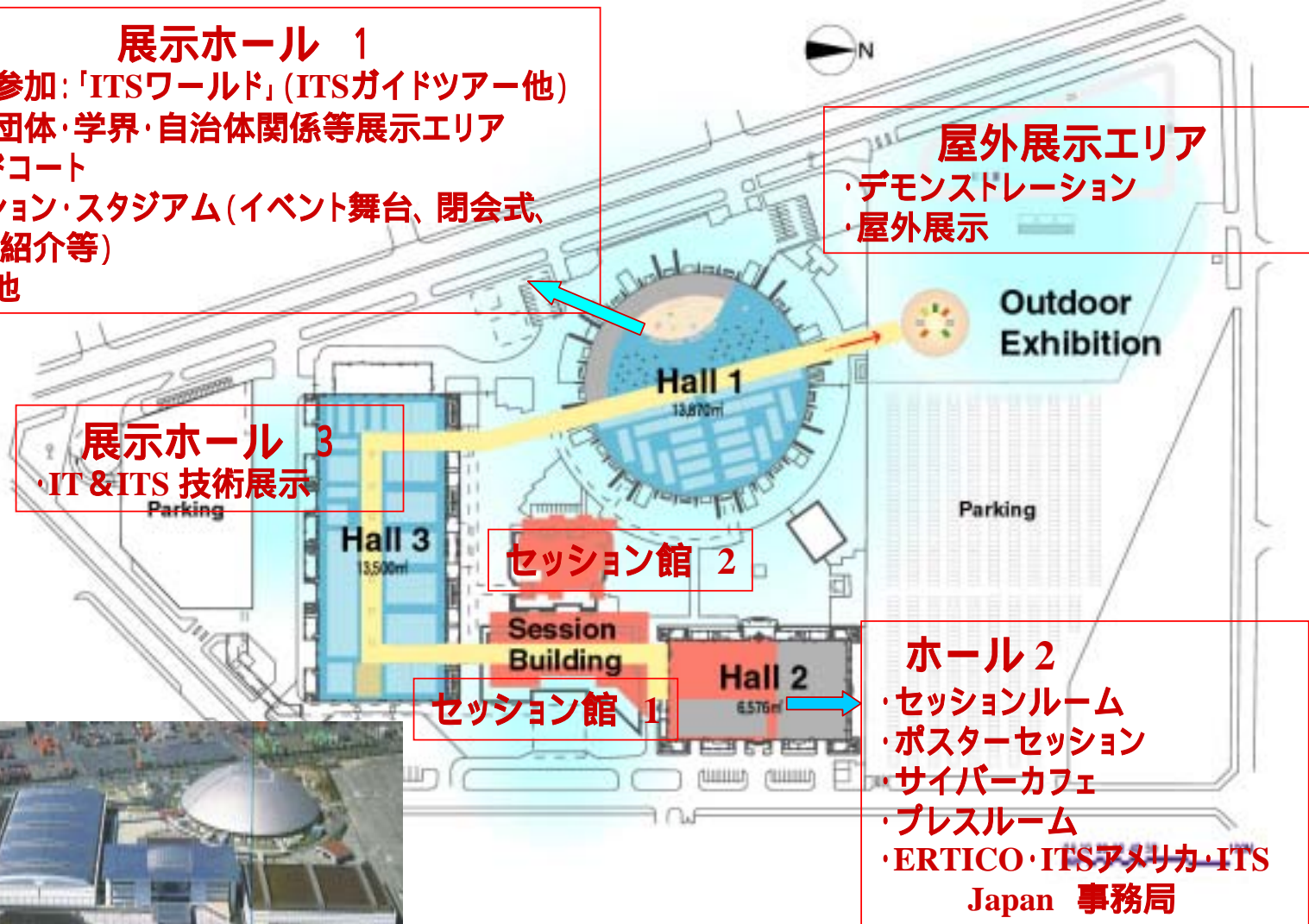
- ・IT & ITS 技術展示

## セッション館 2

## セッション館 1

## ホール 2

- ・セッションルーム
- ・ポスターセッション
- ・サイバーカフェ
- ・プレスルーム
- ・ERTICO・ITSアメリカ・ITS Japan 事務局



# ITS 世界会議の構成

## 1. セッション

プレナリーセッション(全体会議)

開会式、閉会式での主催者・各極代表挨拶等  
エグゼクティブセッション/スペシャル・セッション

各極官民学の代表による講演、パネルディスカッション  
テクニカルセッション/サイエンティフィックセッション/インタラクティブセッション

専門家・学生による技術論文発表

市民講座等のITS認知に関するセッション

## 2. 展示

企業、自治体、政府からの出展展示、「ITSワールド」

## 3. テクニカルツアー

名古屋地域・豊田市を対象としたテクニカルツアー、日本各地のITSを視察・体験するテクニカルツアー、海外のテクニカルツアー

## 4. ソーシャル・イベント(催事)

ウエルカムレセプション、VIPディナー、コンgresディナー、地元盛り上げレセプション等

## 5. ゲストツアー: 愛知・名古屋紹介、日本文化体験、名所訪問ツアー等。

# 開催会場

全国総参加者  
(50万人)

愛知県・名古屋市



オアシス21等  
名古屋市都心部



愛知県内における  
「ITSスマートタウンショーケース」

あおなみ線  
(西名古屋港線)



ポートメッセなごや  
セッション・展示・イベント等

“愛知芸術文化センター”  
開会式



# テクニカルツアー

**特徴: 従来の施設見学ツアーではなく、我国最先端のITS事例  
(ショーケース)を連続して視察・体験できるテクニカルツアー**

## 1. スマートタウンショーケース

- ・名古屋地域及び豊田市を対象に10コース設定

## 2. ローカルショーケース

- ・日本各地のITS先進的な取り組み視察・体験10コース設定

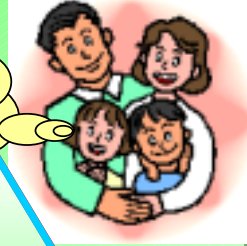
## 3. プレポストツアー

- ・アジア太平洋地域のテクニカルツアーを募集中

# ITSスマートタウンショーケースがめざす街づくり



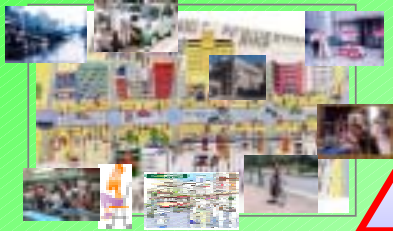
- ・生活しやすい街
- ・生きがいのある街
- ・共に暮らせる街
- ・環境にやさしい街



## Livable Society

### 都市の移動性・快適性と環境を向上させるITS

大都市型交通問題対応ITS (名古屋市)  
地方都市型ITS先行サービス (豊田市)

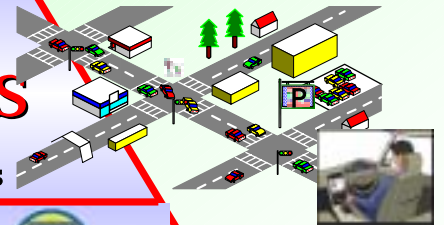
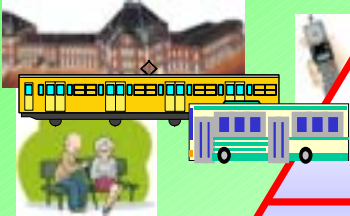


### 人の移動を支援するITS

公共交通利用支援ITS  
歩行者支援ITS  
世界会議移動支援ITS

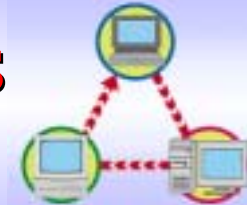
### 車の移動を支援するITS

交通流円滑化支援ITS  
走行・安全運転支援ITS



### 移動情報空間を支えるITS

ITS総合情報サービス



## スマートタウンショーケース

～ はショーケース番号

# 1. エコポイントと歩行者支援ITSが導く 環境・快適都市“名古屋”体験ツアー



注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

## ショーケースのポイント

- ・ITSの活用に取り組む環境都市の実例
- ・主に都心へのアクセスと街のにぎわい
- ・交通エコポイント制度  
パーク&ライド等

## 主な構成要素

名称	内容
交通エコポイント制度	交通エコポイントを活用して公共交通への乗り換え促進等を図り、都心部の活性化や環境負荷の軽減を図る
パーク&ライドシステム	交外部の駐車場情報を使いやすく提供し、自家用車から公共交通機関への乗り換えを促進する
交通結節点での情報提供	人が集まる交通結節点(オアシス21)で、利用者のニーズにあった多様な移動を支援する情報を提供する
歩行者支援ITS	公共交通の乗り継ぎ情報や、歩道の周辺情報、バリアフリー情報等の提供により、快適な未来型の移動を体験する



## 2. 「街の、路の、車の未来を探しに行こう！」 体験ツアー（豊田市）



### ショーケースのポイント

- ・ITS実験が網羅的に行われている都市
- ・世界屈指の自動車メーカーの先端的研究成果のショーケース

### 主な構成要素

注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

名称	内容
ITS情報センター	鉄道、バスなどによる最適な移動手段や経路を案内するため、交通情報や地域情報、イベント情報を総合的にわかりやすく提供する
中心市街地玄関口バス	バス呼出システムで施設(病院、公共施設等)の玄関口まで寄ってくれる便利なダイヤモンド対応型バスシステム
エコカー共同利用	バスやタクシーなどの公共交通が不便な所や、荷物があって移動しにくい時などに、共同利用できるエコカーを活用して、手軽で快適な移動を実現する
実車による近未来の安全・環境対策	トヨタ自動車の特設会場で安全対策や環境への最先端の取り組みを、技術展示と実車デモにより試乗体験する

### 3. 自動車走行・運転に関する 安全性向上の最前線ツアー



#### ショーケースのポイント

- ・日本を挙げた最先端の交通安全施策の集大成
- ・自動車と道路の連携による安全運転の支援
- ・ASV・DSSS・AHSの各システムの紹介

注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

#### 主な構成要素

名称	内容
ASV	自律型の運転支援システムにより自動車走行の安全性を向上する
DSSS	交差点周辺の交通状況等を、安全情報としてカーナビを通してドライバーへ提供し、交通事故を軽減する
AHS	路車間通信や、道路インフラにより、事故防止のための情報を収集、加工しドライバーに安全情報として提供する



## 4. 多目的DSRC体験ツアー



### ショーケースのポイント

- ・ETCを高速道路だけでなく、日常生活でも利用できる世界
- ・使える場所と、機能を拡充  
駐車場等

注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

### 主な構成要素

名称	内容
VICS/ETC	VICSによる道路交通情報の提供や、有料道路料金所でのノンストップの料金自動支払いシステムを体験する
駐車場情報の高度化	駐車場の満空情報をカーナビに提供することにより、空車のある駐車場へ車両を誘導し、交通流の円滑化を図る
DSRCの多目的利用の体験	ETC技術の応用による多目的DSRCサービスにより、駐車場の自動入出場や各種情報の通信による入手を体験する
ITS街道	名古屋長久手線沿いのドライブスルー、ガソリンスタンドなどに集中的に多目的DSRCサービスを導入し、近未来の車両内での決済や情報の入手を体験する。

## 5. 最新の交通管制システム体験ツアー



注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

### ショーケースのポイント

- ・渋滞のない暮らしに向けた最先端の信号制御システム
- ・リアルタイム信号制御 PTPS (公共車両優先システム) 等

### 主な構成要素

名称	内容
交通管制センターの見学	最新設備の交通管制システムで、大型スクリーンにより信号機の運用状況や幹線道路の渋滞状況などを表示
リアルタイム情報に基づく信号制御	各交差点において、画像処理技術を活用した高度な信号制御により、適切な信号制御を実施する
公共車両優先システム (PTPS)	優先信号制御やバスレーンの設定で公共車両が優先的に運行され、バス利用者などの利便性を向上を図る
歩行者等支援情報通信システム (PICS)	交通弱者が交差点を安全に横断することを可能にするシステムを見学する

## 6. 高度な公共交通と運行管理のITS体験ツアー



### ショーケースのポイント

- ・環境にも優しく、渋滞対策にもなる公共交通を便利にする最先端の取り組み
- ・荷さばき駐車管理、タクシー運行管理システム等

### 主な構成要素

注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

名称	内容
荷捌き駐車管理システム	スマートプレート(IC南バプレート)と共同荷捌き駐車管理システムにより、物流車両の都市部での荷捌きの効率化、環境負荷の軽減を実現する
タクシー運行管理システム	複数のタクシー事業者の位置情報や運行情報を共通的なインフラにより把握し、安全管理や運転指導、配車の効率化を実施する
最適経路選択支援システム	バスのリアルタイムな遅延情報も含めて、目的地までの公共交通による最適経路の選択を支援する
デジタルテレビ等を活用した公共交通情報の提供	デジタルテレビの通信機能を活用し、日常生活に根付いた形で公共交通の運行情報を提供する



## 7. ITS情報通信体験ツアー



### ショーケースのポイント

- ・デジタル放送を移動体通信に使うと移動が楽しく便利に
- ・移動体通信の端末(移動体)と集中処理の実際(施設見学)

### 主な構成要素

注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

名称	内容
多様な電波メディアを用いた最適情報提供	車両停車中、移動中に車内で地上デジタル放送、DSRC(狭域通信)、携帯電話など様々な通信メディアを使って情報を入手する
放送・通信に関する施設見学	ITSの様々なシステムの実現に必要な不可欠な通信・放送メディアである地上デジタル放送、携帯電話に関するセンター設備を見学する
アドバンスド・インターネットITSのフィールド実験	IPv4, IPv6が混在するネットワーク環境下において、DSRC、携帯電話、無線LAN等の様々な通信メディア間をシームレスに接続可能とするインターネットITSのフィールド実験を体験

## 8. 全ての車がつながるInternet ITSの世界



### ショーケースのポイント

- ・とにかくつながる、車の通信環境
- ・車でできることが各段に増える将来を体験

注意: 本図はショーケース構成要素をイメージ化したものです

### 主な構成要素

名称	内容
プレゼンテーションセンター	インターネットITSのコンセプト、実用化に向けた取り組みを紹介
ベンディングネットワークシステム	自動販売機(通信機能内蔵)により、車での大容量コンテンツの情報提供サービスを体験
ガソリンスタンドでの情報提供サービス	ガソリンスタンドにおいて、プローブ情報システムの仕組みを活用した車両メンテナンス情報サービスや、タウン情報などの情報提供サービスなどを体験
近未来パーキング	駐車場での入退場管理、キャッシュレス決済サービス、及びタウン情報などの情報提供サービスを体験



## 9. 愛・地球博ITS体験ツアー



注意:ITS世界会議開催時は準備段階であるため、本図は愛・地球博開催時を想定して作成しています



## 10. 中部国際空港視察ツアー



注意:ITS世界会議開催時は開業前であるため、本図は中部国際空港開業後を想定して作成しています



## IMTS : Intelligent Multimode Transit System

最新のITS技術を用いて、専用軌道は無人で自動運転・隊列走行、一般道は通常のバス同様にマニュアルで単独走行を行う新交通システム  
鉄道などの軌道系交通システムの定時性・高速性・輸送力と、路線バスの経済性・柔軟性を併せ持っている。(IMTSプレス発表資料より)

# 2004年ITS 世界会議の意義

1. 次の10年への新たなスタート
  - ・第11回『ITS世界会議愛知・名古屋2004』
2. 「市民参加」により世界会議の新たな潮流づくり
  - ・「ITSワールド」、展示会土日延長、地域セッション他
3. ショーケーステクニカルツアーの充実
  - ・最先端のITS事例、我国のITSの将来像を展望
4. 開催規模の達成
  - ・会議登録5千人、総参加者5万人、全国参加者50万人
5. 関係組織との連携強化
  - ・2004年、2005年愛知万博との連携
6. 官民のITSの取り組みの新たなスタート
  - ・日本としてのITS発信



# 2004年世界会議の特徴(1)

## 全体開催規模の視点

### 1. 開催規模:

- ・会議登録: 従来3~4,000人程度      今回5,000人目標
- ・会議参加: 従来7~8,000人      今回5万人(約10倍)
- ・全国参加: 前例なし      今回50万人(約100倍)

### 2. 展示企業数

- ・従来約240社      今回250社(予定)・過去最高を目指す

### 3. 参加大学数

- ・従来数大学      今回約20大学(50研究室)から100小間出展、過去最高

## 専門家会議の視点

### 1. テーマ: 従来スローガンのみ

今回統一テーマ: 「安全・環境・利便」のテーマで統一性を持たせた

### 2. セッション: 従来700件程度(マドリッド727件) 全体750件(予定)、

今回始めてインタラクティブセッション設定

### 3. ショーケース: 従来既存施設見学中心 今回世界最先端のITSを新提案型で紹介

今回複数のショーケースをツアー形式で効率良く見せる

### 4. G-eSafety: 従来は3極共通テーマなし

3極共通の継続検討テーマとして名古屋・SF・ロンドンの各世界会議につながる立体的な企画は始めて

## 2004年世界会議の特徴(2)

### 【今回全く初めての取組み】

#### 市民参加

1. ITSワールド:主催者がテーマ展示、3,000m<sup>2</sup>(約250小間相当)  
ジオラマシアター等でITSの基本を理解、原寸大の街並みでITS体験ツアー
2. 市民向け見学会:市民が参加できるショーケース見学会
3. 市民講座:市民に対してITSをわかりやすく紹介
4. ITS週間:世界会議前後約2週間をITS週間に設定  
地元イベントと連動した盛り上げ活動(名古屋まつり、ITSフェスティバル等)
5. 展示会の市民開放:10月23日(土)、24日(日)に展示会2日間延長開催

# デジタル時代のIT S

## これからの時代へ

- 技術と現実の融合
- 物作りにおける情報化:ハードとソフトの融合
- 既存システムの統合化

## “情報化”を軸としたIT Sの推進

- 情報の価値感の再構築
- 放送メディアと通信メディアの役割分担による新サービス

# デジタル時代の課題

## 1. デジタル時代の生活変化

デジタルの理解活動

デジタル・デバイドの解消

## 2. インターネット時代への対応

インターネットとデジタルの融合

モノづくり(ハード)とデジタル(ソフト)の融合

## 3. 国際化対応

グローバル化の推進 国際化対応

世界観の拡大 既存概念からの脱皮

## 4. 人間性の追求

技術と現実のギャップの解消

技術の押し付けの回避、ユーザーニーズの把握

コンテンツ開発



## お願い事項

### 【世界会議成功へのご協力】

**世界会議への積極的登録**

**積極的PR**

**世界会議開催時の参加**

## まとめ

1. 今後の世界会議に新しい潮流
2. 従来の世界会議にない取り組み
  - ・市民参加、ショーケーステクニカルツアー等
3. 日本のITSを世界に発信
4. これからの取り組みにかかる2004年の成功

『ITS世界会議愛知・名古屋』の愛称

『ITS 世界会議愛知・名古屋2004』

**“夢いっぱい ITS 未来博”**

(第5回日本組織委員会平成15年10月28日(火)決定)

ご清聴ありがとうございました

2004年ITS世界会議成功に向けて  
ご支援をよろしくお願い申し上げます



“飛躍する移動ITS for Livable Society”